

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●C.ルメール騎手と横山武史騎手がシャーガーカップ出場

現地8月6日(土)、イギリスのアスコット競馬場にて行われた「ドバイデューティフリー シャーガーカップ」では、クリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は計20ポイント、横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)は計16ポイント獲得という結果となりました。N.カララン騎手(アイルランド)が50ポイントでシルバーサドル賞(最多ポイント獲得騎手)に輝き、チーム対抗戦はイギリス・アイルランド選抜チームが優勝(132ポイント)。日本の両騎手が所属する世界選抜チームは第3位(72ポイント)でした。

### ●札幌で「2022ワールドオールスタージョッキーズ」開催

8月27日(土)と28日(日)、札幌競馬場で「ワールドオールスタージョッキーズ」が3年ぶりに開催されます。出場騎手は、JRA代表が武豊騎手、C.ルメール騎手、川田将雅騎手、横山武史騎手、柴田善臣騎手、福永祐一騎手、松山弘平騎手、地方代表が岡部誠騎手(愛知)、外国騎手がテオ・バシユロ騎手(フランス)、デヴィッド・イーガン騎手(イギリス)、ジェームズ・グラハム騎手(アメリカ)、チャクイウ・ホー騎手(香港)、コラリー・パコー騎手(フランス)、クレイグ・ウィリアムズ騎手(オーストラリア)の14名。計4戦で競い合い、個人戦のほか、出場騎手を「WAS選抜(外国騎手・地方競馬所属騎手)」と「JRA選抜」に分けたチーム対抗戦も実施されます。

### ●第12回ジョッキーベイビーズの北海道地区代表が決定

7月31日(日)、北海道浦河町のJRA日高育成牧場で「第12回ジョッキーベイビーズ」の北海道地区代表決定戦が実施され、広瀬仁乃さん(中学1年生・有限会社チェスナットファーム)が代表に決定しました。決勝大会は10月9日(日)、東京競馬場で行われる予定です。

### ●サトノフェイバーの競走馬登録抹消

2018年きさらぎ賞(GⅢ)の勝ち馬サトノフェイバー(牡7歳/栗東・南井克巳厩舎)は6月25日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は21戦3勝で、今後は地方・高知競馬へ移籍する予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●グランブリッジがブリーダーズゴールドC(門別)で重賞2連勝

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月11日、門別、2000<sup>円</sup>)は、4番手から3、4コーナー中間で先頭に立った3番人気のグランブリッジ(福永祐一騎手、牝3歳、父シニスターミニスター)が、2番人気のプリティーチャンスの追撃をクビ差凌ぎ、関東オークスに続く重賞2連勝を達成。1番人気に推されたテリオスベルは3着、キムケンドリームは4着、ハギノリュクスは6着でした。

### ●フローラルC(門別)はスティールグレイス【各地の主要2歳重賞】

フローラルC(8月10日、門別、1600<sup>円</sup>、牝馬)は、4番手を進んだ1番人気のスティールグレイス(父ハタノヴァンクール)が、内で食い下がる2番人気のリコシェを残り100<sup>円</sup>で振り切り、1馬身半差を付けて重賞初制覇を果たしています。

### ●ダンシングプリンスらが出走、8月16日のクラスターC(盛岡)

クラスターC(JpnⅢ、8月16日、盛岡、1200<sup>円</sup>)は、重賞4連勝を目指すダンシングプリンスが最有力候補、以下昨年の覇者リュウノユキナ、オーロラテソーロ、ジャスティン、3歳馬リメイクまでが争奪圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1ホイットニーS～ライフイズグッドが逃げ切る

現地8月6日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1ホイットニーS(4歳上、ダート1800<sup>円</sup>)は、I.オルティズJr.騎手を背にダッシュ良く飛び出して先頭に立ったライフイズグッド(牡4歳、父イントゥミスチーフ)が、同じT.プレッチャー厩舎の所属馬で、一昨年のG1ジョッキークラブゴールドCの勝ち馬ハッピーセイバーに2馬身差をつけて逃げ切りました。ライフイズグッドは昨年11月のG1BCダートマイル(ダート1600<sup>円</sup>)と今年1月のG1ペガサスワールドC(ダート1800<sup>円</sup>)を連勝して臨んだ3月のG1ドバイワールドCで4着。その後、帰国初戦となった7月のG2ジョンA.ネルドS(ダート1400<sup>円</sup>)を逃げ切ってここに臨んでいました。

### ●G1モーリスドゲスト賞～キングエルメスは11着

フランスのドーヴィル競馬場で8月7日に行われたG1モーリスドゲスト賞(3歳上、芝1300<sup>円</sup>)に、坂井瑠星騎手とともに出走したキングエルメス(牡3歳、栗東・矢作芳人厩舎)は逃げて11着に終わりました。勝ったのはJ.ハート騎手の手綱で2番手で流れに乗ったハイフィールドプリンセス(牝5歳、父ナイトオブサンダー、英J.クイン厩舎)。これで今年5月のG2デュークオブヨークS(芝1200<sup>円</sup>)に続く2度目の重賞制覇となりました。